

2024 年度 地域連携室活動計画

2023 年度は、新型コロナウイルスが 5 類感染症へと移行し、地域連携室の運営及び地域貢献活動も本格的な With コロナでの取り組みとなった。引き続き、学生、教職員、地域の関係者が安心・安全のもとで地域貢献活動に取り組めるよう、地域連携室としての役割を果たしていきたい。

【A 地域貢献活動実施のための環境整備に関する事項】

項目	具体的内容
1. 地域貢献活動交流会の実施【継続】	2024 年度に取り組まれた地域貢献活動について、活動者による報告会を実施し、意見交換や情報共有の場とする（3 月実施予定）。
2. 地域懇談会の実施【継続】	学外構成員より地域貢献活動及び地域連携室の運営並びに三つのポリシーを踏まえた本学の取り組み全般についての意見を伺い、今後の活動や運営活性化への参考とする。
3. SDGs の導入【継続】	地域貢献活動の取り組みと SDGs との関連を明確にする（活動申請書への記載）。
4. 地域連携室についての学内周知の強化【継続】	地域連携室の機能、役割、取り組みについて、教職員や学生への周知を強化し、ガイドラインや申合せを遵守した地域貢献活動への理解を促進する。
5. 活動申請に係る負担の軽減【継続】	活動申請に係る書類の作成・提出について関係部署と協議し、内容や手続きの整理を行う。
6. 地域貢献活動日の設定の検討【継続】	地域貢献活動日を設置することの是非と現実的な可能性について検討する。
7. 私立大学等改革総合支援事業（タイプ 3）の獲得に向けた予備的な検討【新規】	私立大学等改革総合支援事業「地域社会の発展への貢献」（タイプ 3）の獲得について、その可能性と今後整備すべき学内環境等の確認・整理を行う。

8. 商船三井テクノトレード株式会社及び株式会社 MOTENA-Sea との連携プロジェクトに係る包括連携協定の更新【継続】	商船三井テクノトレード株式会社及び株式会社 MOTENA-Sea との連携プロジェクトに係る包括連携協定を更新し、各プロジェクト（親子ふれあい企画、スイーツ開発、パンフレット翻訳、他）の取り組みを推進する。
--	---

【B 地域連携室の組織強化と活性化に関する事項】

項目	具体的内容
1. 学生の意見を取り入れる仕組みと方法の検討【新規】	地域連携室に運営に関して、学生の意見や要望を取り入れるための仕組みと方法を検討する。
2. ワーキンググループ (WG) への支援と活動活性化のための環境整備【継続】	女性活躍 WG の活動（小倉城庭園で楽しむ日本と中国のお茶文化（第2弾）、同窓生パネルの制作）、子ども子育て WG の活動（市民向け絵本講座）への支援・協力を行う。また WG への室員の参加・協力を促す。

【C 連携活動】

項目	具体的内容
1. 市民カレッジの学内開催と講師派遣【継続】	市民カレッジの企画案の作成と講座の実施・運営を行う（2024年度担当は人文学部及び短期大学部保育科）。
2. フードドライブキャンペーンの実施【継続】	NPO 法人フードバンク北九州主催による「フードドライブキャンペーン」への参加・協力を行う。
3. シニアサマーカレッジの運営補助【継続】	シニアサマーカレッジの運営に関して、公開講座委員会（庶務課）の補助を行うとともに、本学の地域連携活動に対する地域住民の声を把握する。
4. 商船三井テクノトレード株式会社及び株式会社 MOTENA-Sea との連携プロジェクトに係る連絡調整・活動サポート	商船三井テクノトレード株式会社及び株式会社 MOTENA-Sea との連携プロジェクトに係る連絡調整・活動サポートを行い、各プロジェクト（親子ふれあい企画、スイーツ開発、パンフレット翻訳、他）

係る連絡調整・活動サポート【継続】	の取り組みを推進する。
-------------------	-------------

【D 広報活動】

項目	具体的内容
1. 『地域活動論叢』刊行とホームページへの掲載【継続】	地域貢献活動の報告書『地域活動論叢』の刊行とホームページへの掲載を行う。
2. Facebook の運用【継続】	Facebook を通じた地域貢献活動の広報・情報発信を行う。
3. 地域貢献活動ポスターの学内掲示及びホームページへの掲載【継続】	地域貢献活動を紹介するポスターの作製と学内掲示、ホームページへの掲載を行う。
4. 広報・周知方法の検討【継続】	地域連携室及び地域貢献活動の広報・周知に関して、実効性のある方法・手段を検討する。

【E その他】

項目	具体的内容

【継続】は前年度に引き続き取り組む活動（昨年度の当初計画に年度途中で加えられた取組は【継続】としている。）